

高知県感染症発生動向調査（週報）

2016年 第51週（12月19日～12月25日）

★お知らせ

○インフルエンザに気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第50週の2.25から第51週では4.42と引き続き増加しています。

県内全域から報告があり、高知市、中央西、須崎、安芸、中央東で増加しています。

今シーズンは第50週に流行開始の目安である1.00を上回りましたが、例年ですと、その後6～7週間で流行のピークを迎える傾向があることから、今後、注意が必要です。

迅速検査ではインフルエンザA型が99.5%、B型0.5%となっています。

また、病原体検出情報では、第50週に搬入された検体で高知市と幡多から、Influenza virus A H3 NTが各1件、第51週に搬入された検体で高知市から Influenza virus A H1pdm09 が1件検出されています。

全国でも定点医療機関当たりの報告数が第49週の3.31から第50週では5.02と引き続き増加傾向にあるうえ、過去5年間の同時期と比較しても報告数が多い状態が続いています。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近の5週間（2016年第46～50週）ではAH3亜型の検出割合が最も多く88.2%、次いでAH1pdm09が8.5%、B型（山形系統）3.3%の順でした。

インフルエンザの流行期に入っていますので、外出後の手洗いなどの感染予防を心がけ、症状がある方は、咳エチケットに心がけ、早めに医療機関を受診しましょう。また、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、人ごみを避けるなどの対策も有効です。

予防対策としてはこれらのほかに予防接種がありますので、かかりつけ医療機関にお尋ねください。

学校等における集団発生

※感染症情報収集システム

保健所		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多
休校	第51週	0	0	0	0	0	0
	累計	0	0	0	0	0	0
学年閉鎖	第51週	0	0	0	0	0	0
	累計	0	1	1	0	0	0
学級閉鎖	第51週	0	0	0	0	0	0
	累計	0	0	2	0	0	0

インフルエンザ予防接種は、お早めに！

インフルエンザワクチンを接種してから抗体ができて予防効果が発現するためには、約2週間かかり、約5ヶ月程度持続すると言われていたことから、12月頃までに接種を完了することが望まれます。

予防接種には、インフルエンザウイルスに感染した場合に発症を一定程度抑える効果や重症化を予防する効果が認められています。

インフルエンザの飛沫感染対策【咳エチケット】

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴（飛沫）による飛沫感染であることから、感染予防のため以下の咳エチケットに心がけてください。

- (1) 普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- (2) 咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
- (3) 手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。 等

■ 飛沫感染対策ではマスクは重要です。特に感染者がマスクをすることが、感染の拡散を抑える効果が高いと言われています。

- 厚生労働省 「平成28年度今冬のインフルエンザ総合対策について」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

- 厚生労働省 「平成28年度インフルエンザ Q&A」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou01/qa.html>

○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第 50 週の 8.77 から第 51 週では 8.53 と横ばいですが、県内全域から報告があり、幡多、中央東、安芸で増加し、幡多では注意報値を超えています。

定点医療機関からのホット情報ではノロウイルス 21 例、カンピロバクター腸炎 1 例、0-1 1 例、病原性大腸菌 0-6 腸炎 1 例の報告の他、感染性胃腸炎が小児から成人の間で多いとの報告もあります。

また、感染症情報収集システム※でも 27 例の報告があるなど報告数の多い状態が続いています。

病原体検出情報では第 47 週から 51 週に搬入された検体から、Norovirus GII NT 5 件、Coxsackievirus A2 3 件、Coxsackievirus A4 1 件、Coxsackievirus B4 1 件、Adenovirus 5 1 件、Sapovirus genogroup unknown 1 件が検出されています。

また、全国では第 46 週に 13.13 と注意報値を超え、第 50 週には 20.89 と警報値を超えています。

ノロウイルスなどのウイルスを原因とする感染性胃腸炎は嘔吐、下痢が主症状ですが、その他、発熱、腹痛などの症状があります。特に、乳幼児や高齢者、体力の低下している方は、下痢、嘔吐などで脱水症状を起こすことがありますので、早めに医療機関を受診してください。通常は 1 週間以内に回復しますが、症状消失後も 1 週間程度、長いときには 1 ヶ月程度ウイルスの排出が続くことがあります。

特にノロウイルスを原因とする場合、社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあり注意が必要です。

予防法で最も大切なのは手洗いです。調理や食事の前、トイレの後には石けんと流水でしっかりと手を洗いましょう。感染した人のおう吐物や便から空中に浮遊したノロウイルスを吸い込むことにより感染することもあります。感染した人のおう吐物や便の処理をする時はマスクを着用し、換気をして、直接触れないようにし、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤を使用法を確認したうえで使用し処理しましょう。（使い捨ての手袋やキッチンペーパーなどを使って処分しましょう。）調理をする場合には、十分に加熱しましょう。

●厚生労働省 「ノロウイルスに関する Q&A」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

●衛生研究所 「高知県ノロウイルス対策マニュアル」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>

○百日咳に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第 50 週の 0.03 から第 51 週では 0.07 と急増しています。中央西と幡多で増加し、いずれも注意報値を超えています。

病原体検出情報では、第 51 週に搬入された検体で高知市から *Bordetella pertussis* が 1 件検出されています。

百日咳は、百日咳菌による感染症です。患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌によって感染します。通常 7～10 日間程度の潜伏期を経て、普通のかぜ症状で始まり、次第に咳が多くなり程度も激しくなる事と、痰が出る事が特徴です。その後、激しい咳は 2～3 週間かけて徐々に治まりますが、時折、発作性の咳がみられます。

百日咳は、感染力が強く、咳の開始から約 3 週間は菌の排出があるため、注意が必要です。

特に生後 6 ヶ月未満の乳児では無呼吸発作等、重篤になる場合もあるため、予防接種をしていない新生児、乳児がいる場合は感染に対する注意が必要です。

予防対策は予防接種、うがい、手洗い、咳エチケットです。

感染予防のためにワクチン接種をお勧めします。ワクチンは生後 3 ヶ月から接種可能なので、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く受けておくことをお勧めします。

○A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気を付けて！

定点医療機関からの報告数は第 50 週の 2.33 から第 51 週では 1.97 と横ばいですが、幡多、安芸で増加しており、注意が必要です。感染症情報収集システム※では溶連菌感染症として 10 例の報告がありました。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる飛まつ感染、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる接触感染が主な感染経路です。

乳幼児では咽頭炎、年長児や成人、特に妊婦では扁桃炎が現れ重症化することもあるため、うがい、手洗いなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○マイコプラズマ肺炎に気を付けて！

基幹定点当たりの報告数は第 50 週の 0.63 から第 51 週では 0.50 と減少していますが、中央東、幡多で増加しています。

定点医療機関からのホット情報で 28 例、感染症情報収集システム※では 20 例の報告があるなど、引き続き報告数の多い状態が続いていることから、注意が必要です。

感染経路は患者の咳のしぶきを吸いこんだり、患者と身近で接触したりすることにより感染すると言われています。保育園や幼稚園、学校、あるいは家庭内等での伝播がみられます。

予防対策としては、手洗いと咳エチケットです。

※ 感染症情報収集システム：県内小中高等学校における疾病別患者数情報システム

☆ダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS・つつが虫病）に注意！

日本紅斑熱や SFTS（重症熱性血小板減少症候群）は比較的大型（吸血前で 3～4mm）のマダニが、つつが虫病はツツガムシというわずか 0.3mm ほどのダニの幼虫が媒介する感染症です。ツツガムシのふ化の時期（10 から 12 月）に感染のリスクが高まります。

すべての、マダニやツツガムシが病原体を持っているわけではありませんが、これらのダニに咬まれないようにすることが感染の予防になりますので引き続き、注意が必要です。予防するためのワクチン等はありません。

マダニやツツガムシは野外に生息しています。野山や畑、草むらなどに出かけるときは十分注意しましょう。長袖・長ズボンを着用し、シャツの裾はズボンの中に入れ、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる等、肌の露出を少なくし、ダニ用の忌避剤を使用する等して、ダニに咬まれないようにしましょう。

今年 1 月に SFTS の患者報告がありましたので、冬場でも注意してください。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～2 週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。また受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。






- 高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

- 高知県衛生研究所 マダニによる感染症の注意喚起パンフレットを作成しました。

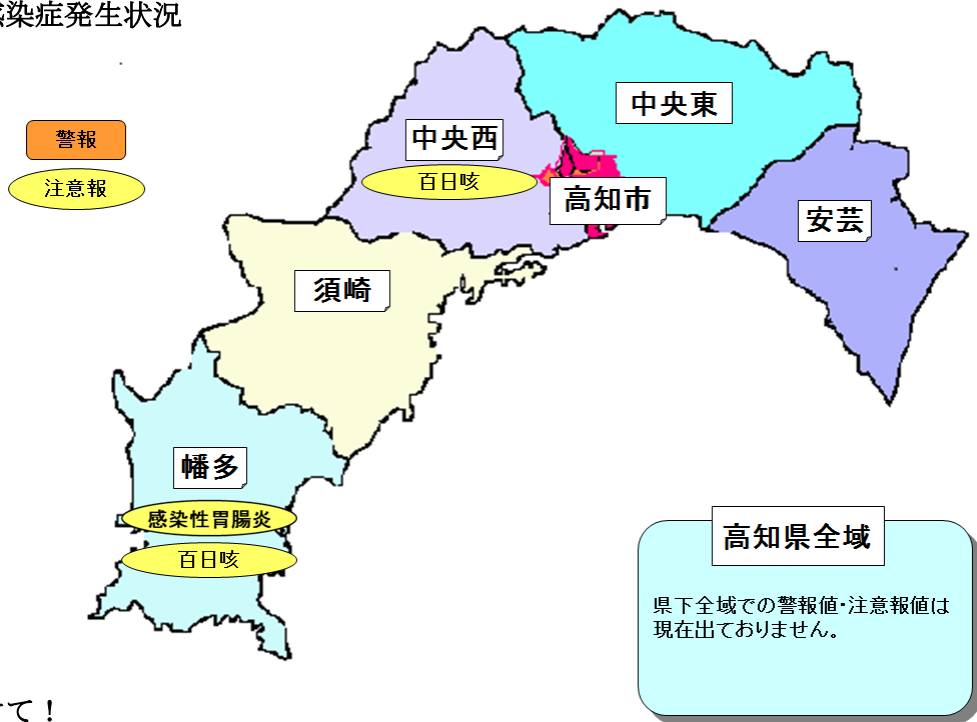
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2016061300063.html>

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患）  : 急増  : 増加  : 横ばい  : 減少  : 急減
51 週（12月19日～12月25日）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎		8. 53	幡多、中央東、安芸で増加し、幡多では注意報値を超えています。
インフルエンザ		4. 42	高知市、中央西、須崎、安芸、中央東で増加しています。
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1. 97	幡多、安芸で増加しています。
RS ウイルス感染症		0. 97	幡多、中央東で増加しています。
水痘		0. 80	中央東、中央西で増加しています。

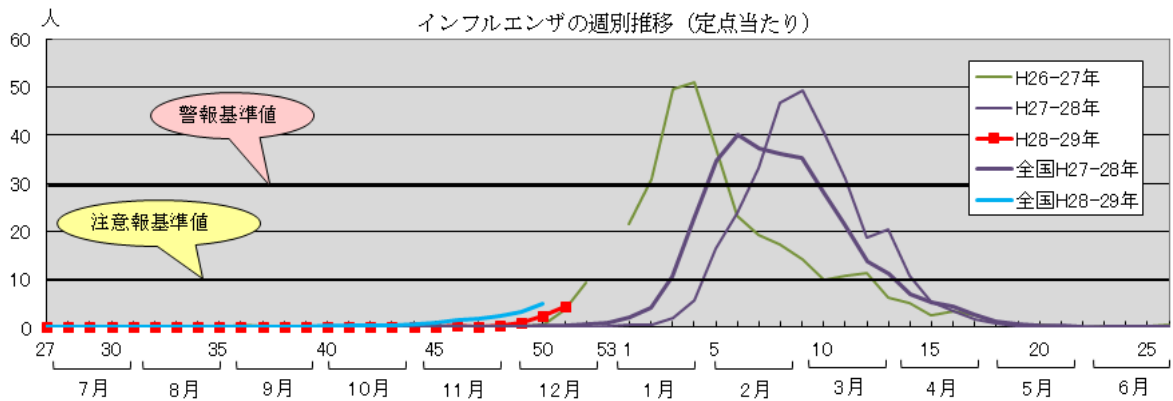
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

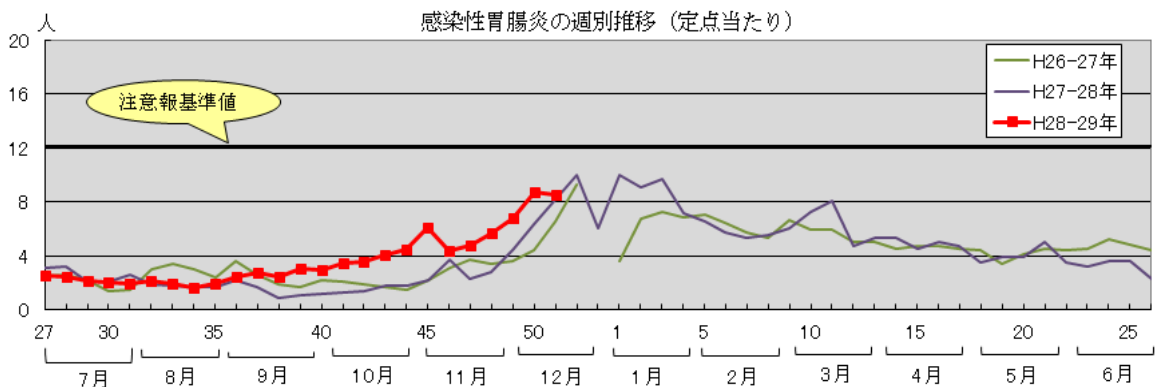
○インフルエンザ 第51週：4.42（注意報値：10.00 警報値：30.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり4.42(前週2.25)と増加しています。高知市8.06(前週3.13)、中央西4.60(前週:2.00)、須崎2.75(前週:0.00)、安芸1.75(前週:0.00)、中央東1.18(前週:0.82)で増加しています。



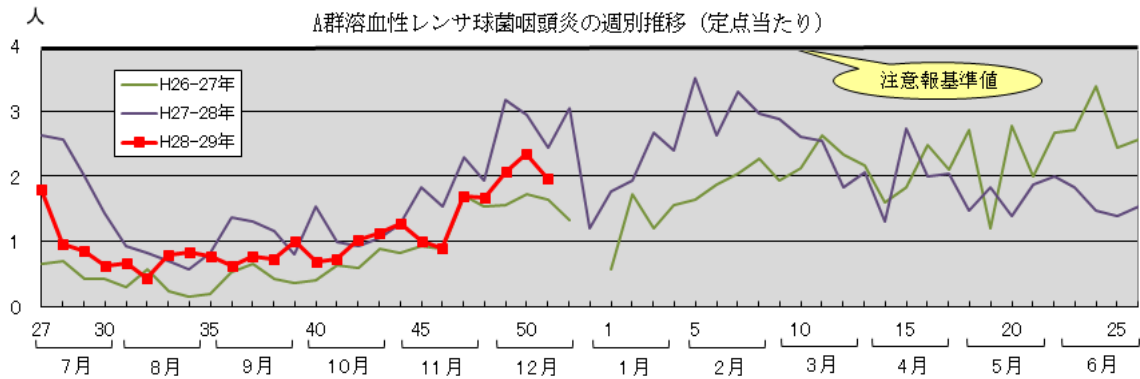
○感染性胃腸炎 第51週：8.53（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり8.53(前週:8.77)と横ばいです。幡多13.40(前週:13.00)、中央東10.00(前週:4.71)、安芸5.50(前週:4.00)で増加し、幡多では注意報値を超えています。



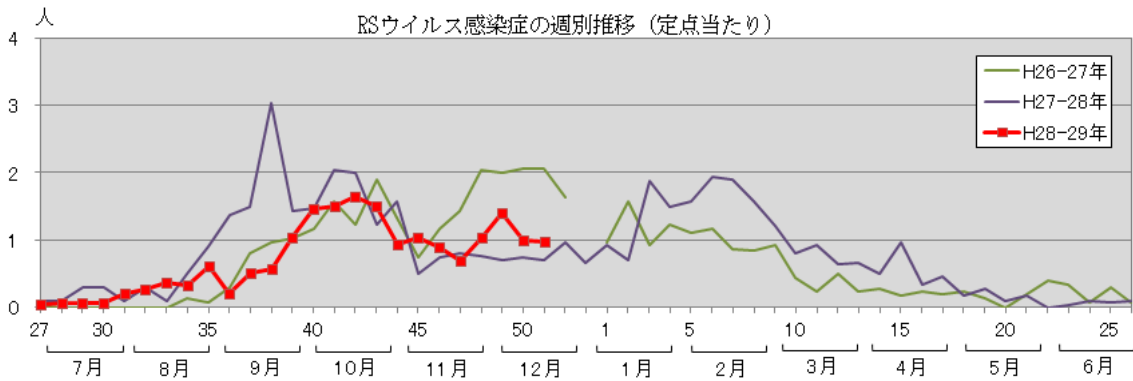
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 第51週：1.97（注意報値：4.00 警報値：8.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり1.97（前週：2.33）と横ばいです。幡多1.40（前週：1.00）、安芸0.50（前週：0.00）で増加しています。



○RSウイルス感染症 第51週：0.97（注意報値：－ 警報値：－）

定点医療機関からの報告数は定点当たり0.97（前週：1.00）と横ばいです。幡多1.00（前週：0.80）、中央東0.57（前週：0.43）で増加しています。



※グラフの途切れについて

H27-H28年は第53週までであるため、グラフ横軸に第53週を挿入しています。

そのため、H25-H26年とH26-H27年のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
51	インフルエンザ	10	男	高知市	Influenza virus A H1pdm09
51	感染性胃腸炎	10	男	須崎	Norovirus GII NT
51	感染性胃腸炎	5	男	須崎	Norovirus GII NT
51	感染性胃腸炎	1	男	須崎	Norovirus GII NT
51	感染性胃腸炎	6	女	須崎	Norovirus GII NT
51	感染性胃腸炎	2	女	須崎	Sapovirus genogroup unknown
51	百日咳	8	女	高知市	<i>Bordetella pertussis</i>

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
47	感染性胃腸炎	11ヶ月	男	須崎	Coxsackievirus A2
47	-	51	男	高知市	Rhinovirus
48	感染性胃腸炎	1	女	高知市	Coxsackievirus A4
49	ヘルパンギーナ	8ヶ月	女	須崎	Coxsackievirus A2
49	手足口病	2	女	中央東	Coxsackievirus A6
49	感染性胃腸炎	11ヶ月	男	幡多	Coxsackievirus B4
50	-	9ヶ月	女	幡多	Adenovirus 2
50	感染性胃腸炎	1	男	須崎	Adenovirus 5
50	ヘルパンギーナ	1	男	高知市	Coxsackievirus A2
50	感染性胃腸炎	4	女	須崎	Coxsackievirus A2
50	感染性胃腸炎	1	女	須崎	Coxsackievirus A2
50	インフルエンザ	2	男	高知市	Influenza virus A H3 NT
50	インフルエンザ	17	女	幡多	Influenza virus A H3 NT
50	感染性胃腸炎	4	男	須崎	Norovirus GII NT

★全数把握感染症

第51週

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	120	50歳代女	高知市
		1	121	70歳代男	須崎
5類	梅毒	1	12	20歳代男	中央西

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
中央東	あけぼのクリニック	マイコプラズマ感染症 1 例 (15 歳)
		hMPV 感染症 1 例 (1 歳)
	いはら内科小児科	0-1 (17 歳女)
	野市中央病院小児科	RSV 感染症 1 例 (生後 7 ヶ月男)
		マイコプラズマ肺炎 1 例 (7 歳女)
早明浦病院小児科	土佐町内の保育園でノロウイルス感染性胃腸炎 13 例 (9 ヶ月男、1 歳男 5 人、2 歳女、3 歳男女 2 人、4 歳男女、6 歳男)	
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎 14 例 (3 歳 3 人、4 歳、5 歳、6 歳 5 人、9 歳 2 人、15 歳、35 歳)
		アデノウイルス感染症 2 例 (0 歳、1 歳)
		カンピロバクター腸炎 1 例 (12 歳)
		病原性大腸菌 0-6 腸炎 1 例 (3 歳)
	高知医療センター小児科	RS ウイルス感染症 3 例 (4 ヶ月女、1 歳男女)
		ヒトメタニューモウイルス 1 例 (3 歳男)
		インフルエンザウイルス 2 例 (11 ヶ月男、16 歳男)
	三愛病院小児科	マイコプラズマ肺炎 2 例 (7 歳女、8 歳女)
	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザ A 型 7 例 (ワクチン接種済み 3 人)
		水痘 (3 歳男：ワクチン未接種)
流行性耳下腺炎 (4 歳男：ワクチン未接種)		
感染性胃腸炎が小児～成人の間で多い。		
中央西	石黒小児科	水痘ワクチン 2 回接種済み (4 歳女)
	くぼたこどもクリニック	マイコプラズマ肺炎 1 例 (13 歳女)
		インフルエンザ A 4 例 (5 歳男、10 歳女、14 歳男：須崎市、14 歳女：仁淀川町)
	日高クリニック	マイコプラズマ肺炎 3 例 (2 歳男、5 歳女、8 歳男)
		アデノウイルス扁桃炎 1 例 (5 歳男)
		百日咳 1 例 (3 歳女：PT-IgG107)
須 崎	もりはた小児科	滲出性扁桃炎(アデノ) 2 例
		流行性角結膜炎 (アデノ) 1 例
		感染性胃腸炎 ノロ陽性 7 例
		マイコプラズマ肺炎 4 例 (4 歳、5 歳、6 歳、13 歳)
		インフルエンザ 4 例は A 型
幡 多	さたけ小児科	マイコプラズマ 2 例 (4 歳女、11 歳女)
		ノロウイルス 1 例 (2 歳男)
		インフルエンザ 15 例全て A 型

★全国情報

第49号（12月5日～12月11日）

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核343例

3類感染症：細菌性赤痢2例、腸管出血性大腸菌感染症16例

4類感染症：E型肝炎4例、A型肝炎1例、つつが虫病38例、デング熱2例、マラリア2例、
レジオネラ症18例

5類感染症：アメーバ赤痢23例、ウイルス性肝炎1例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症26例、
急性脳炎10例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症6例、
後天性免疫不全症候群21例、ジアルジア症2例、侵襲性インフルエンザ菌感染症3例、
侵襲性髄膜炎菌感染症1例、侵襲性肺炎球菌感染症51例、水痘（入院例に限る）4例、
梅毒64例、播種性クリプトコックス症4例、破傷風1例、
バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、風しん1例

報告遅れ：細菌性赤痢1例、つつが虫病8例、レジオネラ症2例、
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症12例、急性脳炎4例、
劇症型溶血性レンサ球菌感染症6例、水痘（入院例に限る）4例、
梅毒28例、播種性クリプトコックス症1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

※第52週（12月26日から平成29年1月1日）の週報は年末年始のお休みの影響で報告が遅れるため、
第52週・第1週（平成29年1月2日から1月8日）との合併号として、平成29年1月12日(木)に発行しま
す。

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第51週 平成28年12月19日(月)～平成28年12月25日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(50週)	高知県(51週未累計)		全国(50週未累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H28/1/4～H28/12/25	H28/1/4～H28/12/18		
インフルエンザ	インフルエンザ	7	13	129	23	11	29	212 (4.42)	108 (2.25)	24,857 (5.02)	15,247 (317.65)	1,668,396 (337.73)		
小児科	咽頭結核熱		2	7			2	11 (0.37)	12 (0.40)	1,616 (0.51)	708 (23.60)	64,720 (20.51)		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	5	32	10	4	7	59 (1.97)	70 (2.33)	8,595 (2.72)	2,500 (83.33)	355,684 (112.70)		
	感染性胃腸炎	11	70	82	15	11	67	256 (8.53)	263 (8.77)	66,015 (20.89)	6,998 (233.27)	1,031,500 (326.84)		
	水痘		13	6	3		2	24 (0.80)	23 (0.77)	2,047 (0.65)	546 (18.20)	61,870 (19.60)		
	手足口病		2	5				7 (0.23)	()	1,371 (0.43)	357 (11.90)	67,157 (21.28)		
	伝染性紅斑			6			4	10 (0.33)	4 (0.13)	420 (0.13)	357 (11.90)	50,766 (16.09)		
	突発性発疹		2	6	1		1	10 (0.33)	10 (0.33)	1,250 (0.40)	520 (17.33)	74,188 (23.51)		
	百日咳				1		1	2 (0.07)	1 (0.03)	35 (0.01)	122 (4.07)	2,927 (0.93)		
	ヘルパンギーナ							()	2 (0.07)	271 (0.09)	789 (26.30)	128,961 (40.86)		
	流行性耳下腺炎		7	5	2	1		15 (0.50)	19 (0.63)	3,056 (0.97)	952 (31.73)	153,999 (48.80)		
RSウイルス感染症	2	4	14	1	3	5	29 (0.97)	30 (1.00)	2,507 (0.79)	1,134 (37.80)	100,558 (31.86)			
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	10 (0.01)	()	386 (0.56)		
	流行性角結膜炎							()	()	495 (0.71)	21 (7.00)	25,251 (36.49)		
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	2 ()	10 (1.25)	482 (1.01)		
	無菌性髄膜炎							()	()	24 (0.05)	34 (4.25)	1,352 (2.85)		
	マイコプラズマ肺炎		2	1			1	4 (0.50)	5 (0.63)	477 (1.01)	321 (40.13)	18,912 (39.81)		
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			3				3 (0.38)	1 (0.13)	9 (0.02)	34 (4.25)	342 (0.72)		
	感染性胃腸炎			1				1 (0.13)	()	26 (0.06)	242 (30.25)	5,205 (10.96)		
計 (小児科定点当たり人数)	21 (8.75)	120 (16.19)	297 (22.88)	56 (15.59)	30 (12.25)	119 (21.43)	643 (18.52)			113,083	30,892 (817.08)	3,812,656		
前週 (小児科定点当たり人数)	12 (6.00)	76 (10.24)	229 (18.94)	53 (16.33)	54 (27.00)	124 (21.88)		548 (16.71)						

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(50週)	高知県(51週未累計)		全国(50週未累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H28/1/4～H28/12/25	H28/1/4～H28/12/18		
インフルエンザ	インフルエンザ	1.75	1.18	8.06	4.60	2.75	3.63	4.42	2.25	5.02	317.65	337.73		
小児科	咽頭結核熱		0.29	0.64			0.40	0.37	0.40	0.51	23.60	20.51		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.71	2.91	3.33	2.00	1.40	1.97	2.33	2.72	83.33	112.70		
	感染性胃腸炎	5.50	10.00	7.45	5.00	5.50	13.40	8.53	8.77	20.89	233.27	326.84		
	水痘		1.86	0.55	1.00		0.40	0.80	0.77	0.65	18.20	19.60		
	手足口病		0.29	0.45				0.23	()	0.43	11.90	21.28		
	伝染性紅斑			0.55			0.80	0.33	0.13	0.13	11.90	16.09		
	突発性発疹		0.29	0.55	0.33		0.20	0.33	0.33	0.40	17.33	23.51		
	百日咳				0.33		0.20	0.07	0.03	0.01	4.07	0.93		
	ヘルパンギーナ							()	0.07	0.09	26.30	40.86		
	流行性耳下腺炎		1.00	0.45	0.67	0.50		0.50	0.63	0.97	31.73	48.80		
RSウイルス感染症	1.00	0.57	1.27	0.33	1.50	1.00	0.97	1.00	0.79	37.80	31.86			
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	0.01	()	0.56		
	流行性角結膜炎							()	()	0.71	7.00	36.49		
基幹	細菌性髄膜炎							()	()		1.25	1.01		
	無菌性髄膜炎							()	()	0.05	4.25	2.85		
	マイコプラズマ肺炎		2.00	0.20			1.00	0.50	0.63	1.01	40.13	39.81		
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			0.60				0.38	0.13	0.02	4.25	0.72		
	感染性胃腸炎			0.20				0.13	()	0.06	30.25	10.96		
計 (小児科定点当たり人数)	8.75	16.19	22.88	15.59	12.25	21.43	18.52				817.08			
前週 (小児科定点当たり人数)	6.00	10.24	18.94	16.33	27.00	21.88		16.71						

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869